

無料クーポン検診最終のお知らせ

乳がん・子宮頸がん・大腸がん検診をお受けになりましたか？

平成25年4月1日で20歳・25歳・30歳・35歳・40歳になっていく方に子宮頸がん検診無料クーポン券を、また、40歳・45歳・50歳・55歳・60歳になっていく方に乳がん・大腸がん検診無料クーポン券を昨年5月下旬に郵送しています。

また、乳がん・子宮がん検診の施設検診は2月末まで利用できます。まだの方はぜひこの機会に受診してください。

また、クーポン検診対象の方も、年に一度の大腸がん、2年に一度の乳がん・子宮がん検診の申し込みができます。

乳がん・子宮頸がん検診、大腸がん検診の集団検診は、2月9日(日)が最終回となります。

☎ スポーツ健康課

☎ 内線309

不妊・不育症でお悩みの方へ

特定不妊治療費、不育症治療費の助成をします。

特定不妊治療費の助成

- ▶対象 体外受精・顕微授精(混合診療除く)
- ▶助成対象者 町内に在住し、平成25年度に神奈川県特定不妊治療費助成費の交付決定を受けた方(夫婦合算の前年所得(1~5月までの申請は、前々年の所得)の合計額が730万円未満の方)
- ▶申請期限 3月31日(月) ▶助成額 上限10万円

不育症治療費の助成

- ▶対象 不育症専門の医療機関による治療(混合診療を除く)
- ▶助成対象者 町内に在住し、平成25年度に指定医療機関にて不育症の治療を完了した方。(夫婦合算の前年所得(1~5月までの申請は、前々年の所得)の合計額が730万円未満の方)
- ▶申請期限 3月31日(月) ▶助成額 上限10万円

☎ スポーツ健康課 ☎ 内線308

予防接種はもうお済みですか？

麻しん風しん
二種混合
大人の風しんワクチン



「麻しん風しん」2期(小学校入学前1年間)は、3月末日で公費接種が終了となり、4月1日を過ぎると接種費が自己負担になります。

また、「二種混合(11歳~13歳未満を対象)もできるだけ、中学校入学前に済ませましょう。

「子宮頸がん等ワクチン」は、副反応の調査中で、現在、積極的な勧奨を控えています。

「大人の風しんワクチン接種」は、今後妊娠予定のある女性と妊婦の夫が対象で、費用助成は3月末日で終了予定です。春先から風しんが流行する季節になりますので、早めの接種をお勧めします。

※接種可能医療機関は、問い合わせください。

☎ スポーツ健康課

☎ 内線310

こんにちはは栄養士です

おせち料理の「いわれ」
〜おせちから、
日本の文化をさぐる〜

おせち料理は、正月に家族が年神様と一緒に食べるご馳走です。一つ一つの料理・食材には縁起のよい「いわれ」が伝えられています。

【栗きんとん】黄金に輝く財宝に例えて、豊かな一年を願う

【田作り(ごまめ)】材料のいわれは昔、田の肥料に使われていたことから豊作を願う

【数の子】多産や子孫繁栄を願う

【れんこん】穴があいていることから、将来を見通せるように

【里芋】土の中に子芋をたくさんつけることから子孫繁栄を願う

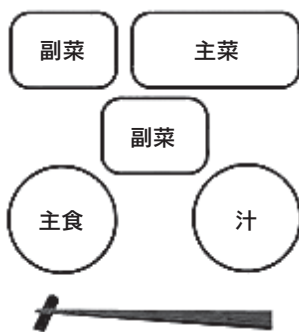
このように様々な意味があるおせち料理を家族で囲んで、一年の幸せを願いましょう。



「和食」は日本が守るべき伝統的な食文化です。食材や料理そのものだけでなく、おもてなしの心、食事の場所・雰囲気、食べ方を含めたすべてが「和食」の大切な要素です。

「和食」は、日本の風土の中で作られた料理で、「一汁三菜」を基本とします。一汁三菜とは、ご飯などの主食に汁物、主菜、副菜二種から構成された料理です。主菜とは、魚、肉、卵、大豆製品などたんぱく質を多く含む料理のことです。副菜とは、野菜、海藻、きのこ類の料理のことです。

左の図は配置例です。



12月初旬、日本が推薦していた「和食」日本人の伝統的な食文化「ユネスコ無形文化遺産への登録が、韓国のキムチ作り文化ほか4文化とともに、決定しました。四季が表現される食文化など「自然を尊ぶ」という日本人の気質に基づいた「食」に関する習わしが認められ、和食が世界から長寿食として注目されていることがわかります。

☎ スポーツ健康課

栄養士 吉田 ☎ 内線319